

「ヘリカルCT肺がんドック」を受けてみませんか

死因の第一位は悪性腫瘍(がん)で、そのうち肺がんが最も多く、悪性腫瘍の5人にひとりには肺がんで亡くなられています。肺がん死亡者は年々増加し、2010年には全国で年間10万人をこえると予想されています。宮城県の報告では2000年に肺がんと診断された人は県内で1240人(男性836、女性314人)でした。

CT肺がんドックをお勧めする条件

1) 男性40歳、女性45歳以上

2) 喫煙者

(一日の平均喫煙本数)×(喫煙年数)

が400を越えると危険が増し、600以上は非常に肺がんに罹りやすいと考えられています。

3) 血縁者に悪性疾患に罹った人がいる場合

万一、肺がんになっても、早期に発見して手術をおこなえば治癒することが可能です。

ヘリカルCT肺がんドックは胸部写真の3～8倍程度の検出率で、**5mm以上の肺野型肺がん**を検出するのに適しています。喀痰細胞診は喫煙者に多いレントゲン写真では見つかりにくい**肺門型肺がん**の検出に有効です。肺がんの腫瘍マーカーは血液反応で肺がんの可能性を検査します。

当所での「ヘリカルCT肺がんドック」では以下の検査をおこないます。

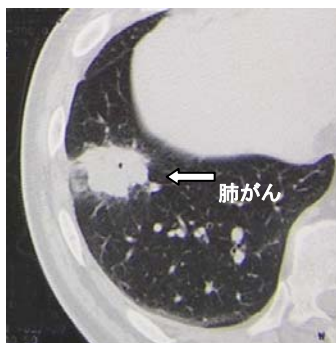
ヘリカルCTスキャンと胸部直接レントゲン写真(正面)

オプション検査

喀痰細胞診(サコマノ氏法)

腫瘍マーカー(CEA、SCC、SLX、NSE)

低線量「ヘリカルCTスキャン」により、被曝量は通常の5分の1程度になります。



「複十字健診センター」

〒989-3203

仙台市青葉区中山吉成2-3-1

TEL 022-719-5161 FAX 022-719-5166

「興生館」

〒980-0004

仙台市青葉区宮町1-1-5

TEL 022-221-4461 FAX 022-221-4465

✦ JATA (財)結核予防会宮城県支部

予約制でおこなっていますので、事前にご連絡をお願いいたします。

診断は日本呼吸器学会専門医・指導医がおこないます。